

長久手市行政評価票

事業番号	35	事業の名称	児童遊園管理事業			担当部署	部	課				
						くらし文化部	産業緑地課					
基本方針	(1)万博理念を継承し、自然・環境にこだわるまち	分野別項目	(4)だれもが憩い親しむ公園緑地を整える	施策の進め方	(1)公園緑地の整備、(3)維持管理に対する住民参加の推進	フラッグ	F3「みどり」～ふるさと(生命ある空間)の風景を子どもたちに～	フラッグ項目	(60)児童遊園の整備			
事業の概要	児童遊園の環境維持のため、樹木の剪定や除草、遊具の保守点検や修繕、定期的なトイレの清掃やゴミ収集を行う。 また、児童遊園の清掃活動を行う愛護会への報償金の支払いや掃除道具の支給を行う。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	通常の維持管理は、児童遊園を所有している市町村で行われている。						
事業期間	事業開始年度	昭和54年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内の児童					うち	一般財源	2,992	2,964	3,262	3,114	3,740
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	安全で快適に児童遊園を利用できるようにする。						国費・県費	0	0	0		
							地方債	0	0	0		
							その他	0	0	0		
							受益者負担額	0	0	0		

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月～ 7月～ 10月～ 1月～	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
									H26予算	H26決算			
① 除草・剪定・清掃事業	児童遊園	●●●●●●●●●●●●●●●●	定期的な除草、樹木剪定、清掃作業を行うことで	除草2回/年 樹木剪定1回/年 トイレ清掃・ゴミ収集2回/年	児童遊園に対する苦情件数	5 4 4	件	前年度実績以下とする。	1,806 2,041 2,429	1,938 2,041	除草・剪定及び清掃業務委託2,041	A 維持 維持	現行どおり実施していく。
② 遊具点検事業	児童遊園	●●●●●●●●●●●●●●●●	定期的な遊具点検を行うことで	規準・劣化点検1回/年 日常点検11回/年	遊具点検で改善が必要とされた箇所のうち、改善を実施した割合	17 32 100	%	指摘を受けた遊具は全て修繕する。	986 1,021 1,201	883 973	遊具保守点検委託973	A 維持 維持	遊具点検で改善が必要とされた箇所の修繕工事を実施する場合、修繕内容によってかかる費用が変わってくるが、緊急度の高いものから随時修繕工事を実施している。修繕予算が不足しているため目標値に達していないが、利用者が安全に遊具を利用できるように点検事業は現行どおり実施する。
③ 児童遊園等愛護会報償金交付事業	愛護会	●●●●●●●●●●●●●●●●	愛護会の活動に対し、半期毎に報償金を支払い児童遊園を管理してもらうことで	愛護会の管理する児童遊園上半期7箇所、下半期6箇所	愛護会数	9 上半期:7 下半期:6 9	団体	既に活動している団体の確保を目標とする。	200 200 110	143 100	報償金100	A 拡充 削減	愛護会として活動しているほとんどの団体が子供会で、子供の減少により子供会が消滅したため愛護会も減少した。市民に公園に愛着を持って清掃等の活動をしていただく事業なので、現行どおり実施する。事業費については、予算配分の結果、削減した。
④													

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要